

校長室だより No.8

コロナウィルス感染をみんなで防ごう2

2021年8月31日 柏市立土小学校 校長 梅津健志

子供たちへの感染拡大が報道される中、明日から2学期を開始します。本日は、教育長からのメッセージも流れました。前回の校長室だよりでお知らせした、子供の健康を守りつつ、子供の発達も守っていくために、今、全国の学校は正解の無い課題に対し、学校の実態に応じた対応を全力で取り組んでおりますので、御理解と御協力をお願いいたします。

しかし、感染拡大の防止に向けて、取り組むことに目新しさはありません。学校としては、アルコール消毒用自動機械を倍にして、休み時間ごとに全員が消毒できるよう確保すること、子供同士のソーシャルディスタンスをとれるよう全ての場で配慮すること、給食時の完全な黙食を実施すること、少しでも具合が悪い場合は欠席・早退をすること、を徹底して参ります。今までも実施していたことを、さらに徹底することを行ってまいります。

それだけでは不十分ではないか、とのご意見を頂戴するかもしれません。そこで、保護者の皆様も子供たちも教職員も地域の皆様も、全ての方々に少し考え方を改めてみていただくと、行動変容が起きるのではないかと考え、この校長室だよりを書きます。

今、私たちは、コロナウィルスに感染しないように心がけて生活をしています。しかし、電車に乗った時、スーパーで買い物する時、周囲に咳をしたり、熱で辛そうな人を見かけることはありません。出張で千葉駅や船橋駅周辺を歩いても見かけません。でも、こんなにも多くの人々が感染し苦しい闘病生活を強いられる方々が増えています。感染は、感染した人が症状が出る前にうつしてしまっているのではないかと考えてみると、どうでしょう。もしかしたら自分は感染しているかもしれないと思ったら、人との距離をとり、マスクをしっかりとし、必要以上に話しかけたり、近づいて話したりしないようにするでしょう。当然、人込みを避けて生活をするのではないのでしょうか。コロナがうつらないように、ではなく、コロナをうつさないようにしよう、と考えると行動が大きく変わるのではないのでしょうか。

このように考えたのは、私の体験を思い出したからです。私は今年3月に、県庁の私が勤めていた義務教育指導室の部下2名が陽性になりました。そのうちの1名が発症する前日に、車に30分弱同乗させてもらいました。濃厚接触にはなりませんでしたが、私の生活は一変しました。

3月議会中のため、連日残業の大変忙しい日々でしたが、自宅テレワークとし、自室で食事を行い、部屋を出る時はビニール手袋をし、自宅内でもマスクをして生活をし、5日後に自費でPCR検査を実施して、陰性を確認した上で、出勤をしました。人についてはいらない、と考えた時に、大きな行動変容がおきるのだと、振り返って思い出しました。

私たちは今までも、自分が少し風邪気味だなと思う時には、友達に「近くによらないでね」と言ったり、手洗いやうがいをしっかり行ったり、人込みを避けて生活したり、自然と行動に変化が起きていました。「うつらないようにしよう」と思うと、自分だけは大丈夫と思いがちですが、「うつさないようにしよう」と思うと、どういう行動をとることが一番ベストなのか具体的になってきます。

親として、外で働いて帰ってきてマスクを外して、子供たちと大きな声で、家族同士といっぱい話したいですね。でも、もしかしたら・・・と考えるとどうでしょう。すこし窮屈な生活が思い浮かびますが、子供たちを守り、家族を守り、地域を守るために、少し意識して行動を変えていくことが、今の状況を変えていくことにつながっていくと思います。

コロナウィルスが我々人類の最大の敵であると思うのは、人と人とを分断していくウィルスであるということです。感染を避けるためには、普段の生活での人と人とのつながりを離していきます。さらに、人の命をも突然奪い、予期せぬ別れを突然引き起こし、世界中で4,509,852人（8月31日14時現在）もの命を奪ってしまいました。亡くなった方の死を悲しんだ人は、亡くなった方の数の何十倍もいるはずですが、世界中で多くの人の悲しみと苦しみに直面させているのがコロナウィルスです。しかし人類は、まだ有効な手段が見いだせていないのです。

今までの経験でわかっていることは・・・ 人流が減ると、感染拡大が収まるということです。

「うつらないようにしよう」から、「うつさないようにしよう」という、ちょっとした気持ちの持ち方で、行動が変わる部分があるのではないのでしょうか？

子供たちの発達に合わせて、子供たちにも考えてもらいたいと思っています。一人一人が当事者になることが大切だと言われますが、「うつさないようにしよう」と考えてみる事が、当事者意識を持つことにつながると思います。

9月1日から、学校は全力を尽くして子供たちの健康と学びを守りつつ、小学校教育の充実を図って参ります。色々なよい提案がありましたら、是非学校までお寄せください。お願いします。

学校メール tsuchi-e@kashiwa.ed.jp